

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 0250-24-5700

年度	平成28年度		
施設名	新潟市新津鉄道資料館	所管部・課	文化スポーツ部歴史文化課
施設の設置目的	鉄道に関する資料を保存し、及び公開することにより、新潟市と鉄道との関わりについての市民の認識を深めるとともに、市民文化の向上に資することを目的とする。		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	H28.5.30
歳入	7,249	正職員	3	修正日	
歳出	32,802	非常勤	4	評価日	H29.5.31

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	H25実績	H26実績	H27実績	H28目標					H28結果
1	市民	基準利用者数の達成	年間入館者数(単位:人)	15,431	46,937	49,616	50,000	55,927	特別展の開催 新津鉄道資料館サンクスフェア実施	特別展「日本海縦貫線一本州日本海側を結ぶ鉄道路線の今昔」 姉妹館「四国鉄道文化館」との交流事業	全国鉄道関係施設との宣伝事業の連携や特別展・各種事業や宣伝の充実を図ったことから目標の入館者を達成した。	A:達成(優)
2	市民	企画展、催し物の充実	企画展、催し物実施数(単位:回)	-	19	32	32	42	事業の継続と魅力ある新規事業の検討・実施 毎月第四日曜日に実車客室・運転席の公開	鉄道模型走行会 写真展示会 鉄道七夕まつり 親子鉄道模型工作教室	鉄道資料館のさらなる魅力を発信するため、企画展・各種事業の充実を図った。	A:達成(優)
3	業務 財務	新津商店街協同組合連合会など他団体・他施設との協働	鉄道関連グッズの売上金額(単位:円)	-	2,649,951	4,015,572	4,100,000	4,714,254	受託販売額(品)の増加	地元商店街組織と連携し、商品開発や販売の充実を行った。	展示商品が不足することの無いように努めるとともに商品開発などを商店街組織と実施した。	A:達成(優)
4	人材	情報共有と人材育成	研修など実施数(単位:回)	3	3	4	4	4	勤務時間の違う各職員の情報共有とスキルアップのために実施	コンプライアンス研修 情報セキュリティ研修 など	職員向けの各種研修会を開催し、情報の共有と人材育成に努めた。	B:達成

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
市の直営施設としての役割の再認識と課題の検討協議。リニューアルオープン後3年目となり、市民の認知度も上がることで入館者も増加している。今後は、収集資料の整理と企画事業の充実を図る。姉妹館西条市「四国鉄道文化館」やその他鉄道関係施設との交流を通じて新津鉄道資料館の周知を図り、他都市からの来館者の拡大と地域住民と共に「鉄道の街にいつ」のイメージ作りを通じて地域の活性化を図る。	鉄道産業を鉄道文化としてとらえ、新潟・新津の地域資源の活用と充実を図ることで全国に向けて、当市の新たな魅力づくりと交流人口の拡大につなげていく。現状は、リニューアル後3年を経過し、来館者の増加が続いているが、さらに全国に向けた広報、宣伝の充実を図ることで認知度を上げ、一層の誘客につなげていく必要がある。そのためにも事業・展示の充実はもとより、地域住民と共に「鉄道の街にいつ」のイメージ作りと中核施設としての役割を果たしていく。